

Not-God

『アルコールリクス・アノニマスの歴史』

Ernest Kurtz (アーネスト・カーツ)

第2部 解釈

はじめに

Presented by
GAコーナーストーン

1

はじめに

Not-God 10/255-256

Not God は二つの本が一つになったもの①

- 第一部 歴史
 - AAが誕生し、発展する、創始から1970年代までのAAによって伝えられてきた理念の起源と発展の物語
 - 歴史的文脈 どのような背景において見るか
 - AA内部における意味
 - オックスフォードグループ、ユング博士、ウィリアム・ジェイムズ、初期メンバーたちの個人的体験 etc.

2

Not God は二つの本が一つになったもの②

- 第二部 解釈
 - AAのプログラムの中身を探り、幅広い思想史におけるAAの歴史的意義を掘り下げる
 - 歴史的意味 育った環境の性質はどうか
 - AA外部の社会的文化的における意味

AAが完成品として天から下されてきたわけではないことは、いまや明らかだ

なぜ、AAは存続、発展してきたのか

- 当時、流行した治療法はAAのみではない
- リチャード・R・ピーボディ、ワシントン運動
- AAとは異なる源泉を持つが、似たような方法
- 同じようなほかの方法は、すぐに滅び去ってしまった
- AAは根を張って長続きし、めざましく受け入れられた

三つの注意点

- ① 証拠のよりどころ
 - ・ 文書の熟読による研究というよりも、実際にAAのフェローシップを観察したもの
- ② 理想化の問題
 - ・ 第二部に書かれるAAの全体像は、ある種の理想像〔現実には存在しない理念型〕であり、実際には例外だけである
- ③ 弁明
 - ・ 「人間は神ではない」というAAの基本哲学を定義することが目的であり、実際のAAや書籍ですべてを証明できないし、カーツ自身の価値観との一致不一致は述べない

5

第二部の全体像

- ・ 第七章 米国史のより広い文脈で
- ・ 第八章 宗教思想史の文脈で
- ・ 第九章 AAの意味と意義
- ・ 補遺A AAと「絶対的存在」
成長あるいは完成としての「霊的なもの」

6

AAのメッセージ

- 〔人間は〕「神ではない(not-God)」
- 第二部では、これを明瞭に定義、吟味、分析する



Ernie and Bill (2008)